

川口 ARAKAWA フォーラム

●開催日

平成 25 年 3 月 21 日（木）
午後 18 時 30 分から午後 20 時 30 分

●開催場所

川口市役所第 2 庁舎
地下第 1 会議室

●出席者

6 名（全構成員：6 名）

●議題

1. 開会
2. 議事録確認委員の選出について
3. 報告・情報提供
 - (1)舟運利用促進シンポジウムについて（資料-1）
 - (2)第 6 回東京低地河川活用推進協議会について（資料-2）
 - (3)荒川の将来を考える協議会、川口 ARAKAWA フォーラムのホームページ掲載（資料-3）
 - (4)第 35 回～36 回荒川の将来を考える協議会の報告（資料-4）
 - (5)地区別計画（川口版）について
 - (6)第 9 期川口 ARAKAWA フォーラムの委員募集について
4. その他



1. 開会

川口事務局より資料の確認

2. 議事録確認委員の選出

堺委員が選出された。

3. 報告・情報提供

- (1) 舟運利用促進シンポジウムについて
- (2) 第6回東京低地河川活用推進協議会について
荒下事務局より資料－1、2併せて説明

委 員 : 協議会に川口市は入っているのか？

荒下事務局 : 東京低地河川ということで、現在は、下流部の区になります。ある程度ルールが整ってきたら、上流部の市区の参加も考えていきたい。

委 員 : ルールはいつ頃出来るのか？

荒下事務局 : やってみたら相当難しく、いつとはなかなか言えない。管理瑕疵の問題と、各自治体の条令の違い、この2つが目下の課題である。

委 員 : 船着場をちゃんと利用できる人、できない人がいるのは悲しい。

荒下事務局 : 取り締まりということができない。自己責任によるルールを作りたい。

委 員 : 遊び場になってもいけないし、いざと言うときに使えなければならない。
不適切な利用が危惧され、開放しない方が安全かと思ってしまう。

荒下事務局 : まず第1ステップとして、避難のために、場所を知ってもらう。そして船舶事業者に普段使ってもらうことを考える。

委 員 : 自転車のようになってはいけない。焦らず着実にやってほしい。

委 員 : 基本的には開放しない方がいい。きちんとした人にだけ開放して、そういう人達にいざというときのために意識を高めてもらう方がいい。いざという時に使えないと困る。そこは善意で考えない方がいい。

議 長 : 見沼田んぼにトラフズクが来て、大勢の人が見に来たのですが、周辺に柵を越えそうな人、ラジコンをしている人等に注意、監視してくれる人がいる。
船着場にも応用できないか。

委 員 : 施設を一部開放するのなら、大事にしたいと思う方もいる。

委 員 : 見沼でうまくいったのは、期間が短いから。私は人をあまり信じられない。

委 員 : (3)の利用ルールに載っている、「利用者間の協議会」が出来ればいいのかでは。

委 員 : 事前の利用申請制としてもよいのでは。利用ルールの浸透も図れる。オールフリーにすると意味をはきちがえる人もいる。

議 長 : ジェットスキーの団体から相談を受けたことがある。2つの団体のうち1つはちゃんとしていたが、1つは滅茶苦茶だった。ちゃんとしてる団体がもう1つの団体に注意喚起をして、適切な利用がなされるようになった。そういった利用者の協議会作りも検討すれば良いのではないか。それから、申請は必要だと思うが手続きが煩雑でなく申請の簡易化が必要。

荒下事務局 : どこか一括して申請を受付けられる所があるといいという話も出ている。

委 員 : 申請のハードルを高くした方が、ちゃんと利用できる意識のある人が利用すると思うので、逆に簡便にしない方がいいと思う。

荒下事務局 : どこで線引きしていくかは今後の実証実験を踏まえながら考えていきたい。

委 員 : いつでも制度は変えられるというカードは持っていたほうがよい。

荒下事務局 : 協議会については、都度、進展があり次第、報告する。

- (3) 荒川の将来を考える協議会、川口 ARAKAWA フォーラムのホームページ掲載

(４) 第 35～36 回荒川の将来を考える協議会の報告

荒下事務局より資料－４説明

戸田市・川口市・板橋区・葛飾区・墨田区・江戸川区の地区別計画が承認された。

議 長 : 戸田市の協議会（第 36 回荒川の将来を考える協議会）は、各地区の取組発表を楽しみにしていたが。

荒下事務局 : 協議会については、何かを策定する場かと思うので、代表者会議のようなもので行っても良いかと。やり方についても今後工夫したい。

(５) 地区別計画（川口版）について

川口事務局より地区別計画概要を説明

荒下事務局 : 川口が他市区と違う点、特徴は、ゴルフ場のような利用施設が占める面積が多いこと。そういう中で、ゴルフ場のエコアップのように、利活用と自然のバランスを取りながら計画を作ること。また、自分たちの足で現地を歩き、確認したことが、ここまで細かく作ることが出来た要因で、よかったと思う。

委 員 : これが最終版か？

荒下事務局 : 協議会を経て了承された最終版である。

委 員 : 三領公園の土手の切り返しの部分、昇りは拡張されてよかったと思うが、下りはどうなっているか。

荒下事務局 : 下りはまだ確認出来てない。この切り返しの拡張の件は、所内の会議で出した。それを受けて動いてくれていたと思う。全部が全部できるとは限らない。

委 員 : パブリックの危険箇所が何箇所かあるので、どうにかしてほしい、という要望もある。現実にはボールが落ちてくるような事故も起きているので。コースを変えるとか、何か安全対策を考えてほしい。

荒下事務局 : 指導はしているが、実例があると重みが違うので、情報をいただければと思う。

委 員 : コースを変えれば解決できるのか。

委 員 : あそこはコースを変えするというよりも、一方通行にしないとダメであろう。あの狭いところを行って帰ってくるコースになっているので、そういうことも起きる。それから、クラブハウスの裏がゴミだらけで、雨季になって水がでると流れてくる。環境にも悪影響。そこまで考えていただかないといけないと思う。

委 員 : 三領運動公園では草刈と同時に清掃車を入れている。それならゴミは残らない。

委 員 : よくゴミ屋敷の話があるが、美観も問題になるか。

荒下事務局 : 美観もそうだが、洪水の際にゴミが流れ出てしまう。その点で指導はできる。

委 員 : 上流からも相当ゴミが流れてくる。川口の問題だけでなく、荒川全体の問題として考えなければならないと思う。

荒下事務局 : ゴミ問題は、荒川上流河川事務所管轄の部分も含めて考えたい。

- 委 員 : 長瀬あたりにいくと水がきれいでゴミも殆ど無い。
- 委 員 : フットサル場の利用回数多い。土日祭日は殆ど使っているのでは。
- 委 員 : 計画書 16 P 右下イラストの水際部の自然度の向上について、具体的な工事の予定は？
- 荒下事務局 : イメージはあるが、予算の付き具合もあり、まだ具体的にはなっていない。ここに載せているということは、やるということでご理解を頂きたい。
- 委 員 : 市民の側でも今後の問題点についても取りあげていく必要があると思う。何かにこういう計画があるということを残し広報していかなければならない。
- 委 員 : 荒川市民会議自体が浸透していない。
- 委 員 : 他の市区では地区別計画のパブコメをしているところもあるが。
- 荒下事務局 : パブコメかけたり、議会の了承が必要だったり、市区によってバラバラである。地区別計画は各首長が集まって了承された計画なので効力はある。
- 川口市 : 公園の利用のルールということ言えば、自由度は少ない。あまりパブコメはそぐわない。協議会の了承でよいのではないか。
- 委 員 : 市民の方に計画書や内容について知ってもらうことは大事である。
- 川口市 : 他区市の状況を見ながら考えたい。
- 委 員 : 東京湾で津波が発生すると、川口だとどの位までくるか。
- 荒下事務局 : 一概に言えないが、内閣府の中央防災委員会で試算をし直している、その試算が出てから工事等考え始める。
- 荒下事務局 : 現在の工事は堤防に水が染み込まないようにする強化工事を行っている。
- 委 員 : 通常の満潮時でも潮は、秋ヶ瀬までは上がる。地震のときはもっと出るのでは。
- 荒下事務局 : 干満の差もある。最悪（満潮）の状況で想定して計算すると思う。
- 議 長 : その都度情報をいただきたい。今一番の関心事だと思う。

(6) 第9期川口 ARAKAWA フォーラムの委員募集について

川口事務局より説明

現委員の方も意思表示いただければそのまま9期も継続させて頂きたい。

議 長 : 今の委員の方全員継続ということで良いか。

委 員 : 全員承諾。

委 員 : もう少し開催頻度を増やしたい。

荒下事務局 : 整備計画の意見を聞く場を立ち上げたい。そこでは市民会議の主な内容である環境や利活用に関する議論は包括されるので、その間は、市民会議を休止してはどうかと提案した。それに対して各市区市民会議の意見はバラバラでまとまらず、また、この議論で地区別計画策定作業の手を止めてもいけないので、この問題は代表者会議で議論することになった。

その中で出た主な意見は、2市7区の枠組みは崩さないで欲しい、流域の計画なら荒川区や台東区などはどうするのか、荒川上流管轄の区間はどうか、という意見もあり、それについて、その場で明確に返答できなかった。

そのような問題を一度事務所に持ち帰って検討することになったが、結論が出ていない状態である。結論が出ないうちは、市民会議は続けていく。

- 議 長 : 5月から第9期に入っていくが、休止するかもしれない、ということではなく、中身のあるものにしたい。議題を考えなければいけないが、地区別計画の確認と、よりよい工夫をしていく、現場を見て意見を述べていく、ということをしていかなければならない。地区別計画の進捗確認、改正は、我々が手作りで作ってきたものであり、我々の義務だと思う。
- 川口市 : 新しい委員には、一度現場を見てもらう方がよいと思う。
- 荒下事務局 : 他の市区がどのような活動をしているか。例えば葛飾区などは船で上下流を見学して議論に活かしている。川口市内だけでなく色々見てもいいのでは。
- 委 員 : 一般の方が興味を持っていただけるように、知り合いの方とかに声をかけていくことも必要と思う。
- 委 員 : 鳩ヶ谷と合併したので、鳩ヶ谷地区でも荒川に近い所もあるので、そちらにも声をかけてみれば。
- 委 員 : 市民会議の存在が知られていない、ということがまず問題。市民活動に関心がないわけではないと思うので、PRは必要。
- 委 員 : SNSなどの活用も違う層の発掘につながるのでは。
- 委 員 : 実際に現場を見ないとダメです。
- 議 長 : それをぜひ第9期でもやりたいと思う。
良い地区別計画ができたので、これを今後も生かしていきたいと思う。第8期はこれで終わります。ご苦労さまでした。